

地域運動 最前線

20地区協議会

Vol. 18

連合大阪の5地域協議会に所属する20地区協議会。「地域に根ざした顔の見える連合大阪運動」を最前線で担う、その活動を紹介する。

大阪市地域協議会 城見地区協議会

役員構成 10構成組織 20単組 役員数21人

担当行政区 大阪市
(中央区、天王寺区、生野区)

主な街宣スポット 大阪メトロ堺筋本町駅、
JR桃谷駅、JR森ノ宮駅



- 議長 畑好伯 (UAゼンセン大阪ガス労働組合) ㊤
- 事務局長 向井諭 (自治労大阪市職員労働組合) ㊦

地域で顔の見える活動 仲間と一緒に積極的に参加

城見地区協議会では、区長懇談会やボランティア活動をはじめ、親睦を深めるためのボウリング大会などさまざまな活動を展開しています。

毎年開いているボウリング大会は年々参加チームが増えており、楽しみにしている組合員さんもたくさんいます。昨年は、初めて行った団体戦でそれぞれ



▲「橋洗いブラッシュアップ大作戦」に城見地区の役員・幹事など12人が参加した
(2018年10月13日)

のチームが非常に盛り上がりを見せていたのが、とても印象的でした。

また、昨年10月に地区として初めて環境行動を行いました。大阪市中央区で実施されている「橋洗いブラッシュアップ大作戦」の一つとして、難波橋の橋洗い清掃活動に参加しました。市民参加者と協力し合いながら、ゴシゴシときれいに橋の欄干などを磨きました。大阪マラソンのボランティアにも毎年参加しており、地域で顔の見える活動を行っています。

新しいことにも積極的にチャレンジし、また、これまで築き上げた運動を継続し発展させていくために、仲間との連携を強化し、まい進していきます。

城見地区がめざすもの

仲間と共に運動を進める

城見地区協議会は、大阪市の中心に位置しています。中央区は企業、天王寺区は学校、生野区は工場が多く点在しており、昼間人口が非常に多い地域です。街頭行動では、ターミナルで連合運動を積極的にアピールしていますが、とりわけ堺筋本町駅では18時からの行動とし、勤め帰りの多くの働く仲間、連合大阪運動への支援を呼びかけながらティッシュ

を配布しています。

地区幹事会は、できるかぎり街頭行動と同じ日に行い、役員負担軽減に努めています。組織事情により出席が難しい役員もいますが、密に連絡を取り合い、つながりを大事にし、情報の共有化をはかっています。また、OB会とも積極的に関わり、現職・OBの違いを超えて地区運動の前進を図っています。

産別や単組の枠組みを超え、一致団結する運動を仲間と共に展開し、連合運動に取り組んでいきます。